

「茶源郷」づくりによる地域活性化
 ~「無い物ねだりから、あるもの探しへ」(京都府和束町)~

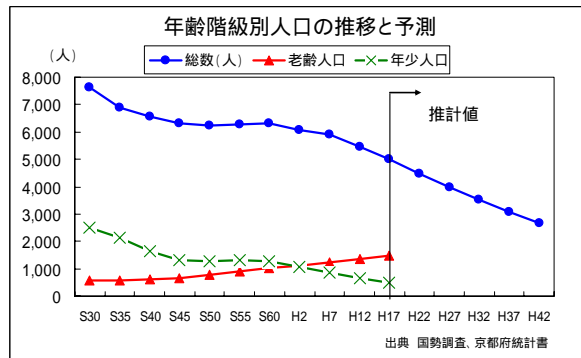
【京都財務事務所】

1. 地域の概要

和束町は京都府の南部に位置し、面積の 75%を山林が占める緑豊かな地域であり、和束川の渓流沿いの急斜面に美しい茶畑が広がっています。火山活動で隆起した地形で水はけが良く、また内陸部のため寒暖の差が激しく適度な風通しもあることから茶栽培に適しており、800 年以上前から丘陵地において茶産業が生まれ高品質な宇治茶（和束産約 4 割）を産出しています。また、同町の「茶畑景観」が京都府教育委員会から「文化的景観」として選定されています。

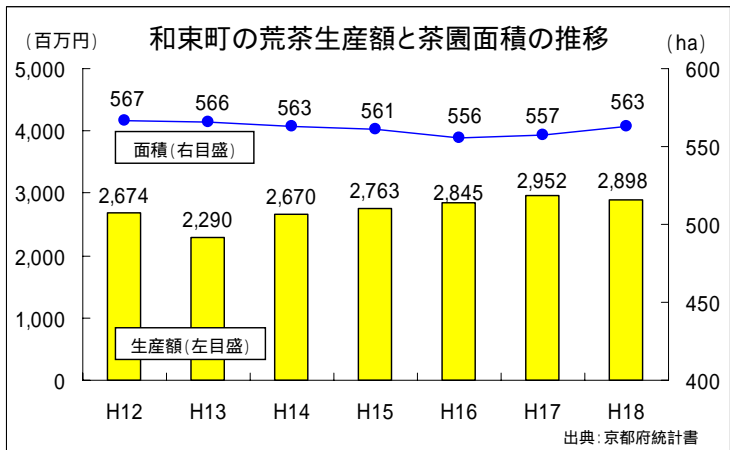
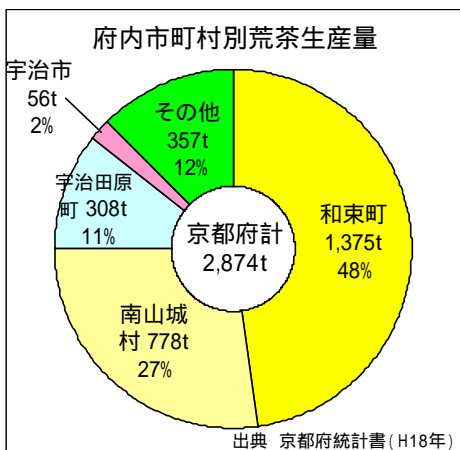


一方、同町を取り巻く環境として、平地が少ないことから企業誘致が困難な状況にあるほか、茶産業の担い手の高齢化や後継者不足、これらに起因する荒廃茶園の拡大など地域経済への影響が懸念されています。



しかし、同町には高品質の茶、景観美、京都・大阪・神戸・名古屋・堺の 5 政令都市から 1 時間 ~ 1 時間半という地の利というアドバンテージがあります。

そこで、今ある地域の既存資源をいかに活用して地域活性化を図っていくかという「無い物ねだりから、あるもの探しへ」の精神の下、新たな雇用創出や茶畑の景観を活かした交流人口の拡大に向けた取り組みが進められています。なお、この取り組みは厚生労働省の平成 19 年度地域雇用創造推進事業に採択されています。



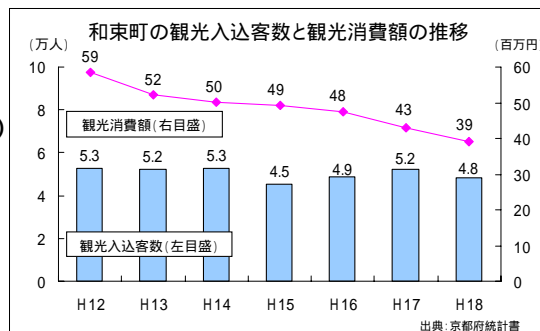
2. 地域活性化へ向けた主な取組内容

茶産業の振興に向けた取り組み

茶産業の振興により雇用創出を図るべく、製茶事業者の経営スキル・販売促進スキル強化、ノウハウ取得に向けた研修等を通じ、事業拡大による雇用拡大や新規就農・後継者確保を図っているほか、荒廃茶園の再生、茶の多角的な販売促進・地域のイメージ向上の仕組みづくりに努めています。

観光客数の拡大に向けた取り組み ～茶産業と観光の連携～

地域農家と茶の愛好家などの集まりで形成された「ほっこりサークル」等の各種団体が、茶摘み体験、お茶の手揉み体験、茶香服（ちよかぶき利き茶）体験等の各種イベントを実施するなど、観光・交流人口の拡大に向けた取り組みを行っています。また、町の遊休土地を利用し、「ティ・パーク（お茶公園）」を整備中です。



交流人口の拡大等 ～「和束茶カフェ」の整備～

茶畑に囲まれた遊休施設をリニューアルして「和束茶カフェ」（本年6月オープン）を整備し、和束茶の販売・飲食の場を提供するとともに、茶のまち「和束」の情報発信拠点と位置づけ、産業振興と観光ビジネスの創造により、交流人口拡大を図っています。

3. 今後の展望

このように地域住民や行政が一体となって、茶畑の景観、お茶の文化などを活かした地域活性化の取り組みが行われています。

同町では、今後の事業発展には「町のために何とかしよう」と積極的に活動してくれる人材の育成が重要と考えており、茶産業の担い手を育成するための研修に力が注がれています。

既にこれまでの取り組みにより、茶産業における新たな創業等もみられるほか、文化的景観に選定されたことなどから和束町の知名度が高まりつつあり、交流人口は増加傾向にあります。また、茶製造企業からの新たな引合いや問合せが寄せられるなど、徐々に取り組みの成果も現れています。

今後、「宇治和束茶」を地域ブランドとして確立し、茶産業を中心とした各産業の振興など茶源郷づくりによる地域活性化の取り組みに期待したいと思います。

<和束町の茶畑風景>



（和束町ホームページアドレス <http://www.town.wazuka.kyoto.jp/>）